これまでの富山県における食育の取組み状況と今後の方向性（案）

資料１

＜これまでの経過＞

H17年6月 食育基本法制定（地方公共団体（都道府県・市町村）の食育推進計画の策定を努力義務化）
H17年9月 富山県食育推進会議設置（全国に先駆けて条例で設置）H18年3月 国が第１次食育推進基本計画を策定

第１・２期富山県食育推進計画（H18～H28）

＜県民運動としての食育の推進＞
◆H17食育基本法制定を受け、国の計画をもとに作成
◆食育の「関心」から「実践」へ
【推進施策】
Ⅰ 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進
Ⅱ 家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現
Ⅲ 家族を中心とした食育を地域社会でもしっかりと支援

第３期富山県食育推進計画（H29～R3）

＜県民が生涯にわたり健康で豊かな生活を送る＞
◆国の第３次基本計画の重点課題を反映
◆若い世代への食育、健康寿命の延伸、食の循環や環境を意識した食育
【推進施策】
Ⅰ 富山の「食」に着目した食育の推進
Ⅱ ライフステージに応じた健康増進につながる食育の推進
Ⅲ 食の安全・安心や食の循環を意識した食育の推進

第４期富山県食育推進計画（R4～R8）

＜「県民の健康で豊かなくらし」と「持続可能な食」の実現＞
◆国の第４次基本計画の重点課題を反映
◆デジタル化に対応した食育、持続可能な食を支える食育
【推進施策】
Ⅰ 多様なライフスタイルに対応した食育県民運動の展開
Ⅱ 生活のあらゆる場面での心身の健康を支える食育の推進
Ⅲ 持続可能な食を支える食育の推進

＜第５期計画策定（R9～）にあたっての新たな視点＞（国）

◆食料システム法施行（R8.4）
◆食育基本法改正（R8.5）
◆第５次食育推進基本計画策定（R8.6）
(1)学校等での食や農に関する学びの充実
○朝食を欠食する子供の割合が増加
○生産現場の実態を知らない子供が増加
⇒栄養教諭等による指導
「農林漁業教育」の推進
(2)大人の食育の推進
○特に若い世代において栄養バランスの偏り・食習慣の乱れ
⇒大人の消費者の行動変容を促す「大人の食育」の推進
(3)国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大
○「農林漁業体験を経験した国民（世帯）の割合」が減少
⇒ 農林漁業体験機会の提供、生産者と消費者が直接つながる取組みや合理的な費用を考慮した価格生成に向けた理解醸成と行動変容の促進

＜主な取組み内容＞

○食育推進全国大会inとやまの開催

＜大会概要＞
（１）開催時期　：令和５年６月24日（土）、25日（日）
（２）大会テーマ：食で心も体も幸せに
とやまから広げるウェルビーイング
～未来につなげよう 幸せの基盤～
（３）来場者数：23,300人（２日間）
（３）主な内容　：
・食育トークショー
・食育シンポジウム　・料理教室（地産地消、サルベージパーティなど）
・講演、セミナー　（栄養科学など）
・クッキングステージ（地産地消、簡単調理、1人暮らしの料理など）
・地産地消弁当の販売
・ワークショップ　（旬の野菜を知る、スポーツと栄養摂取など）
・富山湾アクアリウムの展示
・食育関係ブース出展や農林水産物等の販売・飲食
・農林漁業体験バスツアー　等


食育シンポジウム


バスツアー


収穫体験


トークショー

○「富山型食生活」の推進

・食育関係団体や食育リーダーによる食育講座、調理講習
・富山型食生活動画コンテストやハッシュタグキャンペーンの実施
・富山大学や富山短期大学等での富山型食生活弁当の販売
・SNSを活用した富山型食生活レシピの発信　等

「富山型食生活」とは
富山米と新鮮な魚介、野菜、肉等をバランスよく摂る食生活

STEP１ 栄養バランスの改善
●望ましいPFCバランス（ごはん食を中心に）
●カルシウム・鉄等の十分な摂取
●十分な食物繊維の摂取（野菜料理など）
●抗酸化性食品の摂取（野菜・果物・魚など）

STEP２ 旬の地場産食材の活用
●富山ならではの高品質で新鮮な食材の活用



STEP３ 優れた食文化の継承・創造
●伝統的な食文化などに秘められた工夫を活かす

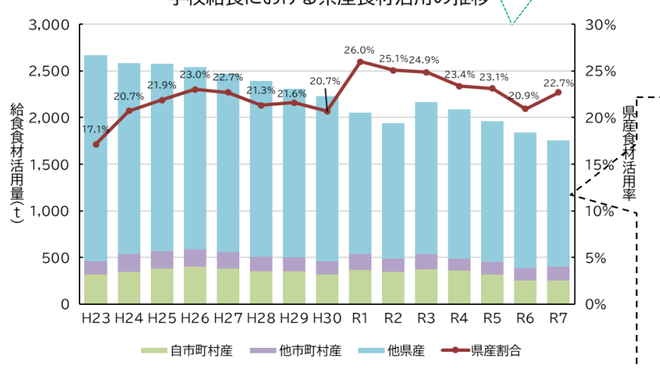


STEP４ 家族そろった食事
●ゆっくり時間をかけて！（適量）
●よく噛んで！
●挨拶と楽しい会話！



○学校給食での県産食材の活用拡大

学校給食における県産食材活用の推移




地場産食材活用拡大に向けた栄養教諭研修会

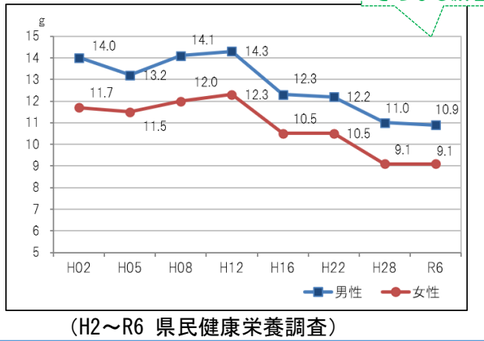


富山の野菜　旬のカレンダー

・「富山の野菜　旬のカレンダー」を栄養教諭や一般県民（イベント時）に配布（累計約800部）
・農林水産部と教育委員会が連携し、学校給食への地場産食材活用に関する県内栄養教諭対象の研修会を開催
・卸売市場と連携し、県産食材の流通等の情報発信や供給体制を整備
・市町村が行う推進体制の整備（推進会議の運営等）、普及啓発資料作成、規格外品の加工品の導入・実証へ支援

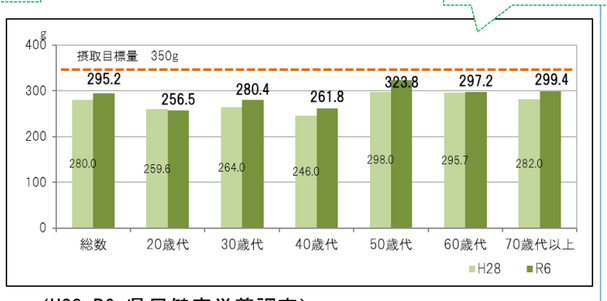
○健康寿命の延伸に向けた食生活改善

食塩摂取量の推移（20歳以上）



（H2～R6 県民健康栄養調査）

県民１人あたり野菜摂取量（１日あたり）



（H28, R6 県民健康栄養調査）